



フィジー諸島



エヴァ・ナンギオ

Eve Naqio

ダスキン研修第13期生

私の国について

- 2018年のフィジーの人口は**912,241**人で、世界で161番目である。フィジーで2007年に実施された最後の国勢調査では人口が837,200人だった。この人口が2018年までに**912,241**人に増えたと思われる。
- フィジーの宗教。多民族、多文化国家であるフィジーでは国民のかなりの数がある主要宗教の信者である。来訪者は全国各地で**キリスト教**教会、**イスラム教**寺院、**シーク教**寺院、**ヒンドゥー教**寺院を目にする。
- **フィジー**の暖かい**熱帯性気候**は、海辺で休日過ごすのに最適である。一年を通して最高気温が31° C (88° F) から 26° C (79° F) の範囲を超えることはほとんどない。3月から11月にかけて南東貿易風が乾燥した気候をもたらし、雨季は12月から4月である。



私の国の障害者の一般的な暮らし



2013年 フィジー国憲法 第二章第42節 障害者の権利

フィジー、国連の権利条約に署名 - 2010年6月2日

フィジー、国連の権利条約を批准 - 2017年6月7日

フィジー、障害者の権利法成立 - 2018年3月16日

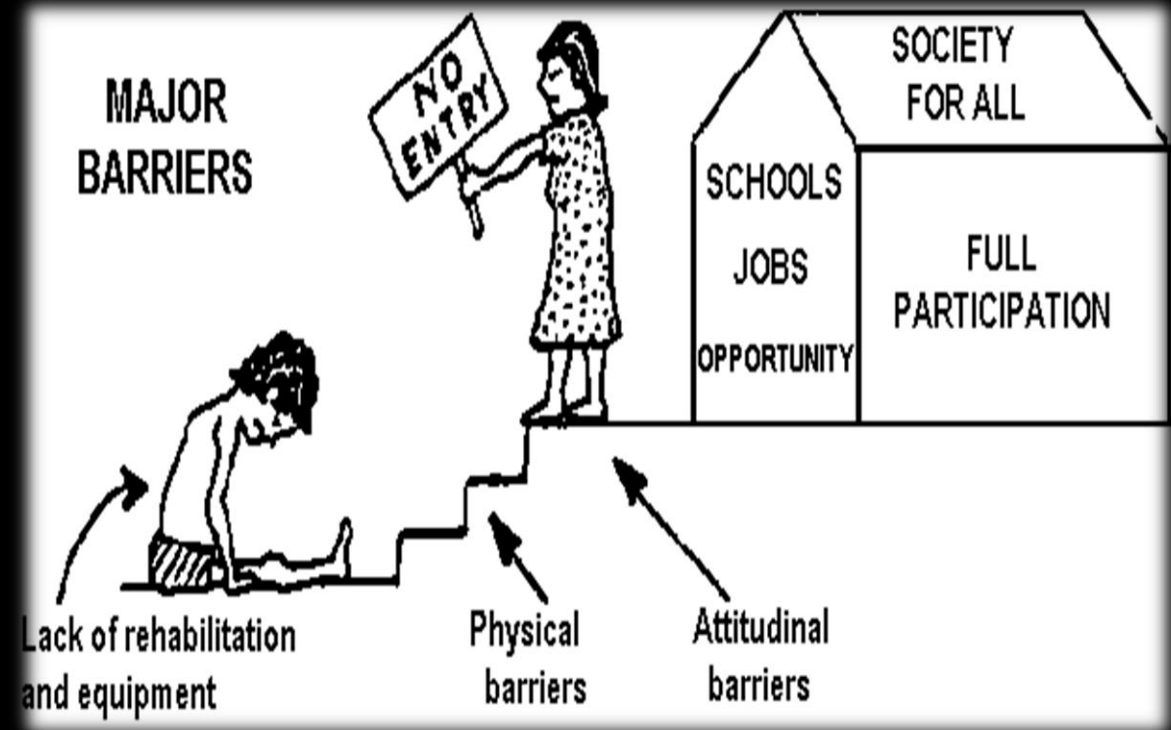
2016年 障害者の権利に関する太平洋フレームワーク



公正へのアクセスに対する障壁

障害者は概して数多くの障壁に直面しており、他の人々と同じ機会を得られない。

- 法律・政策の障壁
- 態度の障壁
- 情報・コミュニケーションの障壁
- 環境および社会基盤の障壁



背景 – インクルーシブな予算編成のプロジェクト

- 2015年 プロジェクト開始
- 太平洋障害フォーラム傘下の太平洋諸島14か国に焦点を当てる。14か国とはクック諸島、ミクロネシア連邦、フィジー、キリバス、マーシャル諸島、ナウル、ニウエ、パラオ、パプア・ニュー・ギニア、サモア、ソロモン諸島、トンガ、ツバル、バヌアツ。



フィジーの権利擁護者と活動



今後の進め方

- 障害者の人権に適合できるように、整備されている法や規則を検討する必要がある。
- 政府は、法律や施策を策定・整備する時は障害者や当事者団体に話をする。
- 権利実現のために配分されるリソースの量と適切性を検討する必要がある。
- 障害者は公的リソースの配分に関する意思決定に関わる。



重要な鍵

- 公正（法的・政策、態度、コミュニケーション・情報、物理的および経済的）へ、アクセスする際に直面する多様な障壁と、私たちの地域的狀況の中でそれらを克服する適切な対応を明らかにする必要がある。
- 法律や実施方策および予算配分は障害インクルーシブであることを確実にする。
- 私たちは専門家—障害者とその代表組織—と協議して取り組む必要がある。



Thank You

ありがとうございました

